

ズルしているのに 儲からない理由



*スピリチュアルや道徳じゃないよ

ひまわりメソッド
ホームケア

介護界隈のズルい人たち ...

ゲーム理論から導き出される「お金を稼ぎたいなら、 “いい人 ”が一番強い」という話

ゴミ屋敷が整ってきたら ケアマネが急に “身内事業所 ”に引き抜く

要支援から 要介護に変わった瞬間に他所へ移される

有料老人ホームで、自法人の福祉用具やデイサービスを “強制 ”される

「なんかズルしてるのに、得してるよな ...」

でも、本当にそうでしょうか？

実は——

ズルをすると “短期的には得 ”をしても、 “長期的には損 ”

このことが、ゲーム理論の枠組みで証明されているんです

今回は「他人のために行動すること(=利他行動)」がなぜ“得する戦略”かを、論理的に、わかりやすく解説していきます



“ズルい人”は「小者」しかいない

人の手柄を奪う

自分のミスをごまかす

点数稼ぎだけに必死になる ——

「あの人、得してるな」と感じるかもしれないが
そういう人に限って、器が小さく、考えが浅い

「ズル」は「今だけ、自分だけ、バレなければOK」という考え方
つまり

「今だけ」= 未来を見ていない

「自分だけ」= 他人を見ていない

「バレなければOK」= 全体の構造の中に自分を置けていない

経済活動は、ひとりだけが大金持ちになることは不可能 まわりの人が困窮して
いたら、買ってもらえないから！
だから

「自分だけ得をすればいい」という発想は、論理的に必ず破綻する



「あいつ ズルいけど有能だよね」は幻想

ズルく立ち回って、うまくやっているように見える人

でも実際は そういう人ほど、信頼の輪には入れてもらえません
あなたの周りにいる「小ズルい人」を想像して下さい
その人って

今 出世していますか？

新しい仲間がついてきていますか？

昔の仲間から 今でも信頼されていますか？

…きっと、そうはなっていないはず なぜなら ——

ズルで得た立場は、信頼という土台がないから、もろい
長く活躍するのは、コツコツ信頼を積みあげること

ズルして高収入でも3年で辞めるのと 信頼されながら並みの収入で 10年続けるのとでは
5年後・10年後の“期待値の厚み”がまったく違う

その場しのぎの要領より、積み重ねた信頼の方が、ずっと強い
だからこそ、ズルは「得」に見えて、実はものすごく“損”



ゲーム理論の視点から見ても「ズルは最適解ではない」

確かに、ゲーム理論では、「裏切り」が得をする場面もある ※「囚人のジレンマ」
でもそれは「一度きりの勝負」の話

社会は広いように見えて、私たちは思ったよりずっと続く狭い社会で生きている
仕事も遊びも生活も、結局は、人付き合いの繰り返し

そこで一番得をするのは、信頼される人

ズルい人＝転職しても、結局次の会社で信頼を失って辞める

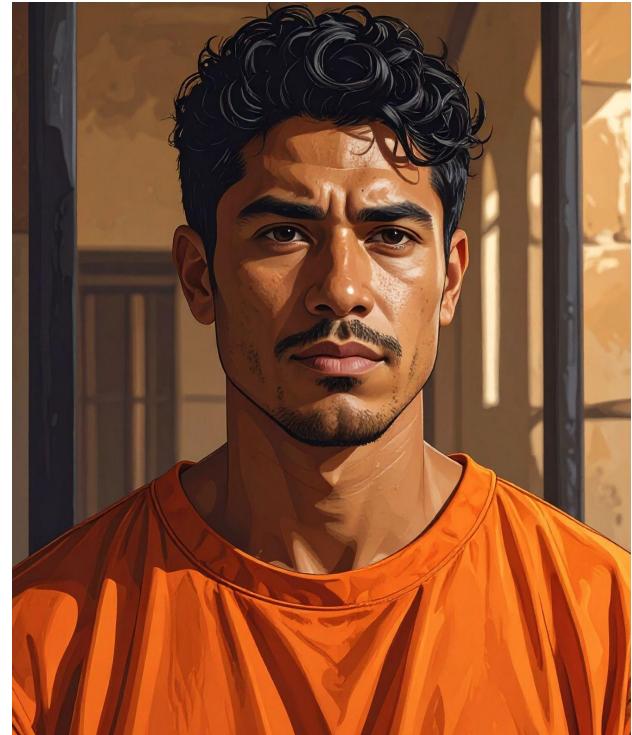
他人と協力できる人＝チャンスがあれば紹介され 困った時は周囲に助けられる

現代は「評価経済社会」

信頼＝将来の収入

ズル＝その場しのぎの安売り戦略

「ズルは単発 信頼はストック だから信頼の方が、儲かる」



ズルは得に見えて“最大の損”

ゲーム理論で証明されているように

短期的な裏切り=一時の得に見えても

信頼を失えば、その後の利益は大きく下がる

介護の現場も人生も、人との関係は“繰り返し”

信頼と協力こそが、長く稼げる最強の戦略

ズルをして 30万を3年で終わらせるより

信頼を積んで 20万を10年続けた方が、5年後・10年後の期待値は圧倒的に大きい

「ズルいけど有能」は幻想

信頼がない人には、大きな仕事も、長期の成果も回ってこない

結論：

ズルは短期のギャンブル

信頼は長期の資産

だから“いい人”が一番強く、一番儲かる！

